【　お　し　ら　せ　】
※　数値等は全て速報値のため、
今後変更される可能性があります。

# 令和３年７月１日からの大雨に係る災害派遣について

令和３年７月１０日
防　　　衛　　　省

## 概　要

【静岡県】
○　７月３日（土）午前、静岡県熱海市内の住宅地域で土石流が発生。同日１２３０、静岡県知事からの災害派遣要請を受理。
○　７月１０日現在、自衛隊は、約１,１７０名の態勢をもって、被災現場に約４７０名、救助犬５頭、重機６両、ヘリ１機、及びドローン７機を投入し、警察・消防と連携して人命救助活動等を実施。

【島根県】
○　７月７日（水）、山陰地方における大雨のため、県道２３号が土砂や倒木により通行困難となったことから、同日１９３５、島根県知事からの道路啓開に係る災害派遣要請を受理。
○　道路啓開が終了したことから、７月８日（木）１３３０、島根県知事からの災害派遣撤収要請を受理し、活動終了。

【熊本県・宮崎県・鹿児島県】
○　７月１０日（土）早朝、鹿児島県、宮崎県及び熊本県に大雨特別警報が発令。都道府県知事からの要請は無いものの、現地の被害発生状況を踏まえ、自衛隊法第８３条第２項ただし書きに基づく自主派遣として、車両、ドローン及びヘリによる情報収集活動を実施。

## 活動実績

**１　人命救助活動等【７月３日～９日：静岡県】**
○　被災現場における活動人員等：延べ約２,８３０名
○　活動部隊：陸上自衛隊第３４普通科連隊(板妻)、第３２普通科連隊（大宮）、第１施設大隊(朝霞)、第１戦車大隊(駒門)、航空自衛隊中部航空警戒管制団（入間）等
○　使用装備：重機６両、ヘリ（ＵＨ－１）２機、全天候型ドローン７機、災害救助犬５頭（最大時）　等
○　救助実績：９名（うち５名について警察により死亡を確認）
○　道路啓開：国道１３５号線及び活動地域付近の道路上に堆積した土砂等を除去し、計約２００ｍを啓開

**２　道路啓開【７月７日～８日：島根県】**
○　被災現場における活動人員等：延べ約３０名及び車両８両
○　活動実績：県道２３号線の道路上に堆積した土砂及び倒木等を除去し、約５５ｍを啓開

## 本日（１０日）の活動

【静岡県】引き続き、以下の活動等を実施

**１　人命救助活動**
○　０６００以降、陸上自衛隊第３４普通科連隊（板妻）、第３２普通科連隊（大宮）、第１施設大隊（朝霞）、航空自衛隊中部航空警戒管制団（入間）等の人員約３８０名により、災害救助犬５頭、重機６両（掩体掘削機×２、油圧ショベル×２、バケットローダ×１、ドーザ×１）を用いた人命救助活動等を実施。

**２　情報収集等**
○　全天候型ドローン７機により、被災現場の情報収集及び映像伝送を実施。
○　東部方面航空隊（立川）のＵＨ－１×１機が被災現場の情報収集及び映像伝送を実施。

**３　連絡員の派遣**
静岡県庁に３名、熱海市役所に３名、伊豆山現地本部に７名の連絡員を派遣。

【九州地方】以下の活動等を実施

**１　情報収集等**
○　陸上自衛隊西部方面航空隊（高遊原）のＵＨ－１×２機により、熊本県八代市～鹿児島県阿久根市及び川内川沿いを中心に情報収集及び映像伝送を実施。
○　陸上自衛隊第８通信大隊（北熊本）の隊員２名・車両１両により、熊本県水俣市～鹿児島県さつま町にかけて情報収集及びウェアラブルカメラによる映像伝送を実施。
○　陸上自衛隊第８施設大隊（川内）のドローン×２機及び航空自衛隊西部航空警戒管制団（春日）の全天候型ドローン×２機により情報収集及び映像伝送を実施。

**２　連絡員の派遣**（１６か所に合計４９名を派遣）
熊本県：熊本県庁に９名、水俣市役所、球磨村役場、人吉市役所、芦北町役場及び津奈木町役場に各２名の連絡員（計１９名）を派遣
宮崎県：宮崎県庁に５名、高原町役場、えびの市役所及び小林市役所に各２名の連絡員（計１１名）を派遣
鹿児島県：鹿児島県庁に７名、湧水町役場に４名、薩摩川内市役所、伊佐市役所、出水市役所及びさつま町役場に各２名の連絡員（計１９名）を派遣

# 活動状況（熱海市）

要救助者の捜索活動①

要救助者の捜索活動②

重機による道路啓開

隊員から激励を受け、活動に向かう救助犬